

平成28年度
島根大学大学院医学系研究科
看護学専攻（博士前期課程）入学者選抜
（第2次募集）
試験問題
小論文
（60分間）

注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題紙は表紙を含めて6枚です。
- 3 志望するコースの問題について解答してください。
- 4 問題紙は持ち帰ってください。

看護管理学コース

問題 次の表1と表2は、10の国立大学附属病院の病棟に勤務する臨床経験2～3年目の看護師（A群）と臨床経験6年以上の看護師（B群）の、勤務帯リーダーに求められる能力に対する自信について、「確実にできる（5点）」から「できていない（1点）」の5段階評定を用いて調査した結果を示したものです。以下の問1と問2に答えなさい。

表1 勤務帯リーダーに求められる能力に対する自信のA群とB群の平均得点の比較

（この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。）

表2 群別の勤務帯リーダーに求められる能力に対する自信の因子別平均得点の比較

（この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。）

（横田ひろみ・斎藤久美子：臨床2・3年目看護師の勤務帯リーダーの自信につながる要因—6年目以上看護師との比較から—、日本看護管理学会誌、vol.17, No.1, 2013より、表2及び表3を引用・改編した）

問1. 表1と表2のデータから読み取れることを記述しなさい。

問2. どのようにすれば、臨床経験2～3年目の看護師が、自信を持って勤務帯リーダーとしての役割行動をとるようになると考えますか。
あなたのアイデアまたは戦略を述べなさい。

問題 次の文章を読んで、以下の問1、問2に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(斉藤嘉孝、近藤克則他:高齢者の健康とソーシャルサポート—受領サポートと提供サポート—、
公衆衛生、69 (8)、2005、661-665より一部改変)

問1. 図1と図2から分かること及びその背景について述べなさい。

問2. 問1をふまえて、地域包括ケアシステムを展開するときに留意すべき点について述べなさい。

母子看護学コース

以下の問1及び問2に答えなさい。

問1. 日本の子どもの相対的貧困率は16.3%（2014年）であり、OECD（経済協力開発機構）平均より高い。日本の子どもの貧困の背景にあるものは何か答えなさい。また、子どもの貧困率が高いことによって起こる問題について答えなさい。

問2. 急性リンパ性白血病の児の確定診断から寛解導入療法時までの看護について述べなさい。

成人（急性・慢性）看護学コース

問題

がん医療においては、がんと診断された時から様々な段階での意思決定が必要となる。それらの場面において、がん患者とその家族は様々な反応を示すことから、看護者は彼らが納得した意思決定を行うことができるように支援することが必要である。以下の問いに答えなさい。

問1. がん患者とその家族が直面する意思決定の場面をあげて、その内容を説明しなさい。

問2. がん患者とその家族の意思決定支援について、問1であげた意思決定の場面を用いて述べなさい。

高齢者看護学コース

問題 老年看護におけるエンパワメントの活用について、以下の問1及び問2に答えなさい。

問1. 老年看護においてエンパワメントを活用することの意義を述べなさい。

問2. 高齢者が自身の「強み」がより発揮できる状態を獲得していくためには、看護者としてどのような支援ができると考えますか。あなたの考えを述べなさい。